

年 代	60代	
主な活動拠点	丹波	
団 体 名	ナルク丹波	
氏 名	事務局長 笹倉 武史	
連 絡 先	TEL	0798-46-3933
	FAX	0798-46-3933
	E-mail	sasa@rapid.ocn.ne.jp
活動の内容	<p>「高齢者の自立支援（通院支援と家事援助）」と「子育て支援」が活動の柱です。特に「子育て支援：青少年の健全育成」活動として兵庫県が推進される「子どもの冒険ひろば」事業を4年前から年間100日開設し、現在も継続中です。</p> <p>19年4月から兵庫県社会福祉協議会の推薦を受け、独立行政法人福祉医療機構から助成金を受けて、丹波市内の幼稚園、小学校へ「体操教室」の出前開設を開始しています。その他多彩。</p>	
活動のきっかけ	<p>公園で遊んでいた子どもが転倒したとき地面に顔を強打し永久歯の前歯を折損した光景を見たとき、子どもたちの世界が驚くべき状況にあることを知らされて子どもの外遊び群れ遊びの活動に力を入れるようになりました。</p>	
活動の頻度	<p>毎週水曜日は篠山市の公園を活用した「たんばっ子広場」を開設しています。土曜日は丹波市で里山の再生活動と「子どもの冒険ひろば」を開設しています。その他、中高齢者のボランティア団体の特色を生かした「手作り遊びの伝承活動」等で月に15日活動しています。</p>	
活動してよかったこと、困ったこと	<p>良かったことも困ったことも特にありません。</p> <p>少子高齢社会は元気な高齢者が頑張らねばと思っているだけです。</p>	
思い出に残るエピソード	<p>設立と同時に始めた共働き家庭の児童の送迎活動のことです。</p> <p>学校から学童保育の児童館へ2年間、チームを組んで毎日続けましたが、その子どもたちが大きくなって里山の冒険ひろばに遊びに来るようになりました。それが今までの一番の喜びでした。</p>	
活動を始めたい人へのアドバイス	<p>夫婦一緒にボランティア活動に参加されるのが一番だと思います。なぜならば、月に15日もボランティア活動に参加すれば片方から文句のひとつも言われるでしょうが夫婦で活動すれば誰からも文句は言われず済みますから。ボランティア活動が夫婦共通の趣味のようになって定年後の生活はバラ色ですよ。</p>	